点検・評価の様式

政府統計コード	00500227	
基幹・一般の別(選択記入)	特定一般統計調査	
調査の名称	畜産物流通調査	
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択(複数選択可)	○	重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
		国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
		月例経済報告に利用
	○	基幹統計の作成に利用
	○	基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	○	その他（国民経済計算の作成に利用、「農業・食料関連産業の経済計算」の畜産部門（酪農、肉用牛、豚、鶏卵、肉鶏）及び食肉部門の国内生産額の推計、「産業連関表」の畜産部門（酪農、肉用牛、豚、鶏卵、肉鶏）及び食肉部門の国内生産額の推計等）
特記事項		

①　調査計画との整合性確保等の観点

調査計画との整合性 （整合している場合チェック）	☑ １.調査の目的 ☑ ２.調査対象の範囲 ※ ☑ ３.報告者数等※　（報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等） ☑ ４.報告事項とその基準期日 ※　（報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間） ☑ ５.報告の方法 ※　（報告を求めるために用いる方法） ☑ ６.報告を求める期間 ※ ☑ ７.集計事項 ※ ☑ ８.結果の公表方法及び期日 ※　（調査結果の公表の方法及び期日） ☑ ９.使用する統計基準 ☑ 10.調査票情報の保存　（調査票情報の保存期間及び保存責任者） ☑ 11.立入検査　（基幹統計調査のみ）	**全項目整合**

（注１）「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施

（注２）不整合は生じていないものの、調査計画の改善を検討（予定）している事項がある場合はシート②で記載

②　統計の品質確保・向上を図るための統計作成プロセスの水準の段階的な向上の観点

業務マニュアル等の 整備・共有の状況 及び 実際の業務の実施状況 の確認等	☑ 課題なし □ 課題あり、見直し・改善を実施（予定含む） □ その他（例：課題精査中、課題はないが見直し・改善を実施（予定含む）等）

③　必要な精度の確保・向上の観点

	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移（自由記入。別紙も可）		
	精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択（複数選択可）	目安としている指標の具体的な設定内容･考え方等（自由記入。別紙も可）	目安としている指標の設定時期（自由記入）	今回調査（又は前回調査）	前回調査（又は前々回調査）	前々回調査（又は３回前の調査）
１ 調査の実施目的を確保するための精度管理の実施状況	達成精度 回収率・回答率 回収調査票数 ○ カバレッジ その他 ○ 設定なし	（鶏卵流通統計調査） 前年の本調査の結果及び関係機関から収集した情報により作成した「鶏卵集出荷機関一覧表」を利用し、全国の鶏卵集出荷機関（集出荷団体、集出荷業者、直接出荷する生産経営体）のうち10ｔ未満のものを除いた上で、集出荷量の合計が都道府県の総集出荷量の60%以上となるまでの集出荷量上位の集出荷機関 （と畜場統計調査（日別））・（と畜場統計調査（月別））・（食鳥流通統計調査） 全数調査であるため、精度管理の目安としている指標は設定していないが、回収率の実績は右記のとおり。	（鶏卵流通統計調査）昭和45年	令和７年調査 回答率 と畜場日別：100% と畜場月別：100% 鶏卵流通：97.3% 食鳥流通：99.2%	令和６年調査 回答率 と畜場日別：100% と畜場月別：100% 鶏卵流通：98.3% 食鳥流通：100%	令和５年調査 回答率 と畜場日別：100% と畜場月別：100% 鶏卵流通：100% 食鳥流通：100%